

# 詩集 わたしの青い鳥

(幸せの青い鳥たちは何処に)

飛鳥 圭

## プロローグ

---

### プロローグ

青い鳥って「幸せの鳥」的なイメージを小さな頃から持っていて、青い鳥を見つけるって難しい？  
し・あ・わ・せには簡単になれないからそうなのかなあと思っていた。

事実、僕の場合であるが、この歳になっても未だに青い鳥を見つけられていないのだ。  
なのに幸せなのである。・・・幸せの程度は人それぞれ、健康でない人には健康であれば幸せです  
と多くの人たちがおっしゃるのだ。

だから青い鳥=幸せ・・・だけじゃなく、青い鳥=日常の大切な事だと思うことにしている。

小さな人生 光に満ちて いついつまでも・・・天地真理さんが歌う「ミザの花の咲く頃」の歌  
詞の

一部分であるが、僕はこのフレーズが大そう気に入っているのです。

そしてこの小さな？些細な日頃の出来事の繰り返しである日常を過ごせることが幸せなのだ  
！

そんな訳で幸せを探そうよってことでわたしの青い鳥をタイトルに詩作をしてみようと思ったの  
です。

このタイトル？チルチルとミチルが幸せの青い鳥を探して旅に出る物語だったり、桜田淳子さん  
の

歌と同じタイトルのような気がしているのですが、でも完成すればこの詩集「わたしの青い鳥」は僕自  
身

の6作目となり、今年になって早くも4作品となります。

青い鳥たちは訪ねて下さった皆さんの幸せを心から願っているのです。

飛鳥

# もくじ

---

## もくじ

### I : 小さなしあわせ

- \* 溪流の鳥・・・3
- \* 初恋×2なの・・・4
- \* 山は山・・・5
- \* 風と雨と君と・・・6
- \* 夏の日・・・7
- \* 花と話そう・・・8
- \* そよ風・・・9
- \* 風と戯れて・・・10
- \* まぼろし模様・・・11
- \* 色づく季節・・・12
- .....
- \* 夏の終わりに・・・13
- \* 遥か彼方・・・14
- \* 新しい日に・・・15
- \* 君と歩いた道・・・16
- \* 僕のファンタジア・・・17
- \* 今日から・・・18
- \* 忘れ物・・・19
- \* 思い出さなくても・・・20
- \* 最悪なこと・・・21
- \* むかし、昔・・・22

### II 夢と現実

- \* 好きな人・・・23
- \* こんな日に・・・24
- \* 11月の詩・・・25
- \* 生きる・・・26
- \* 新しいこと・・・27
- \* 初めての・・・28
- \* 愛について・・・29
- \* いつも考えている・・・30
- \* 明日へ・・・31

- \*バイクに乗って・・・32
- .....
- \*眠れないとき・・・33
- \*感謝すること・・・34
- \*愛と慈しみと・・・35
- \*旅立ち・・・36
- \*遠い国へ・・・37
- \*輝く故郷・・・38
- \*ちょっとしたこと・・・39
- \*皆踊れ・・・40
- \*希望の光・・・41
- \*爛爛ラン・・・42

### III 恋の青鉛筆

- \*過ぎし日々へ・・・43
- \*新たな未来・・・44
- \*夢の花・・・45
- \*大好きだった・・・46
- \*別れと出会い・・・47
- \*子どもたち・・・48
- \*風と花たち・・・49
- \*いつの日も・・・50
- \*叱られて・・・51
- \*丘にある家・・・52
- .....
- \*終わりの日に・・・53
- \*秋風とともに・・・54
- \*違った靴・・・55
- \*雨のち曇り・・・56
- \*思いつき・・・57
- \*懐かしきこと・・・58
- \*久しぶりです・・・59
- \*アガムって・・・60
- \*もう一度・・・61
- \*十三夜・・・62

### IV すみれ色した君へ

- \*君の瞳・・・63
- \*ゆっくりと・・・64
- \*オレンジ色の風・・・65
- \*sing a song・・・66
- \*ひとりなら・・・67
- \*いちにさんしい・・・68
- \*歳を取るって・・・69
- \*何をしましょう・・・70
- \*はじめての・・・71
- \*無駄な時間・・・72
- .....
- \*駄目なことも・・・73
- \*夕陽・・・74
- \*今日の空色は・・・75
- \*雪の道・・・76
- \*待ち合わせ・・・77
- \*行きつけの店・・・78
- \*花咲く頃に・・・79
- \*けじめ・・・80
- \*春の雪景色・・・81
- \*春風にふかれて・・・82

V 二人で歩く空

- \*赤い色は・・・83
- \*朝もやの日・・・84
- \*別れの日・・・85
- \*想い・・・86
- \*経験・・・87
- \*春を待つ花・・・88
- \*花とkiss・・・89
- \*はるか昔の・・・90
- \*楽しいことって・・・91
- \*空にむかって・・・92
- .....
- \*今日から・・・93
- \*雨の日・・・94
- \*5月に想う・・・95

\*誘いの径・・・96

\*風に吹かれて・・・97

\*潮風のささやき・・・98

\*挑戦・・・99

\*学ぶこと・・・100

\*ハンディ・・・101

\*二十歳になった君へ・・・102

F I N E

## 溪流の鳥

---

— 溪流の鳥 —

青い翼をもった鳥  
翼は青く輝き宝石のようだ  
誰かが言った  
幸せの青い鳥

カワセミであろうか  
わたしは未だに実物を  
この眼で見たことがない  
だからだよ不幸なのは

そんなことはないよ  
夢の中では青い鳥を見ているんだ  
でも夢の中だろう

そうだけど  
じゃあ  
探しに行くことにするよ  
でもしあわせって  
身近なところにあるのだけだね

じゃあ幸せってなあーに  
五体満足で生きていること

それって当然だろうって  
ほんとのことなのだが  
些細なことが大切に  
一番幸せなことなのだよ

美味しいものを食べれること  
健康で元気であること  
自分の好きなことができること  
心の中ではとっくに  
青い鳥を見つけているのだからね

ほんと・・・感謝しなければ



## 初恋×2なの

---

—初恋×2なの—

手がかかるく  
ふれ合う度に

心にまで  
あなたへの想いが  
募ってくる

二度めの  
初恋みたい

瞳をじーと  
見つめ合っていると  
やはり初恋の気持ち

この心模様は  
あの時と同じ

そっと  
唇を重ねると  
やっぱり  
レモンの味がした

# 山は山

---

ー山は山ー

山はやま・・・

海はうみ

あるべき姿に

感激したり

山が海に

なることはない

海が山に

なることはない

無理なことは

無理なのです

だから山はやま

海はうみ

見るべくして

見てるから

美しい・・・

ほんと

美しいのです

山も海も・・・

## 風と雨と君と

---

—風と雨と君—

風・・すすきの中を  
手をつないで  
走った日を想う

雨・・  
相合い傘で  
歩いたあの時  
傘を目隠しに  
抱擁したあの日

濡れるよって  
言ったのに  
いいのよって  
君の可愛い笑顔が

君といるときは  
何故か  
風と雨の日  
ばかりだった

だから・・  
だから  
いつまでも  
覚えているんだね

## 夏の日

---

—夏の日—

夏の想いを  
胸にしまったままなのに  
あの夏がやって来た

今年は・・・  
あの想いを  
すべて吐き出し  
楽しむんだ

もちろん愛しい人に  
好きだと伝えるさ

この夏を今度は  
ぜんぶ僕のものに  
してしまうんだ

## 花と話そう

---

ー花と話そうー

淡いピンクの花びら

可愛いよね

この色は・・・

女性なんだよね

耳をすまして

じっと見ていると

あまり見ないでって

声が聞こえます

少しハスキーボイス

朝晩は寒いので

風邪をひいちゃたかな

毎日でなくていいから

時々外に出て

話しかけてね

つつじの花びらって

話すんだね

花の精が

いるんだよね

## そよ風

---

ーそよ風ー

手をつないで  
二人して  
緑の公園にいます

爽やかな  
緑の風・・・  
胸いっぱい  
深呼吸をして

なにごともなく  
また手をつないで  
歩きだす

これから  
何処へ行こうか  
平凡なこんな一日  
何事にも変えがたい  
ゆとりの時空・・・

そよ風と一緒に  
二人して歩く  
素敵な季節です

## 風と戯れて

---

—風と戯れて—

風が良く吹きます  
そんな庭にたたずんで  
じっと考え事をしてると

何してるのって  
突然に風が強く吹くのです

風は友だちだから  
ああ—何か用なの？  
適当に答えたりしてるのです

そんなこと分かってるよ  
またあしらうような  
素振りなんかして  
素直になりなさいよ

またあの娘思い出してるんでしょ  
もうはっきりしないから  
思いきって好きと言えればいいのに

風って気ままなのに  
考えるような仕草をしてると  
気にかけて話しかけてくれるんだ  
やさしい風なのです

それじゃ頑張るんだよ  
また来るからね  
風が去っていきました

## まぼろし模様

---

—まぼろし模様—

誰かいるのか  
いるなら出てきなさい

今度は低い声で  
ほんとうに  
誰かいるかい

すると  
霧の中から  
静かにしてって  
声がするのです

今いいところなんだから  
耳をすませてみると  
歌声が何処からか  
聞こえてくるのです

目を凝らして  
じっと見てみると  
妖精たちが  
コンサートをしてる

いつぞやに  
聞いたことのある歌だ  
思い出そうとしても  
思い出せないのであるが

そのうちに  
歌も聞こえなくなって  
妖精もいなくなった

誰かいるなら出てきなさい  
読んでも返事がないのです



そして不思議なことに  
辺りがまぼろし模様  
になって来て

今度は  
僕の心の中から  
妖精たちが  
歌っていた歌声が  
聞こえてくるのです

## 色づく季節

---

—色づく季節—

木々の葉も  
色づき・・・  
眼には優しい  
秋模様が始まる

僕も君も  
この季節とばかりに  
ファッションを  
楽しんで

手を握りあって  
街を歩いていく

何故か恋人同士が  
よく似合う  
そんな歳になったねって  
見つめ合って笑うのだが

この色づく季節は  
人恋しくって  
いつも二人でいないと  
寂しいんだ

## 夏の終わりに

---

まだまだ暑いので・・・変なポエムに・・・？  
出来の拙いのは暑さのせいにとこっと(笑)

－夏の終わりに－

君の瞳に  
虹をみた  
きれいだった

花火に行った  
浴衣の君は  
ツインテールで  
人違いかと思った

声をかけて  
すみません  
謝ったんだ

そしたら  
私よって  
もうもう・・・  
びっくりだ

プロポーズした  
うんって  
君からの返事  
良かった  
そして  
君を抱きしめた

## 遙か彼方

---

— 遙か彼方 —

遙か遠い果てに  
何時たどり着くのか

そんな  
気の遠くなることを  
思い巡らしている

そして・・・  
日々の雑用の中で  
月日が過ぎてしまい  
いつしか遙か遠いことも  
近くに近づいていて

手を伸ばせば  
もうそこまで近づいてる  
春ってそんなものだよって

遙か彼方って  
日が過ぎりゃ  
あっという間だよ

それはそうだけど  
遙か彼方って  
やはり長いよね

ほんとうだ・・・  
好きな人に出会うのと  
同じように  
長い長い道だよ

## 新しい日に

---

—新しい日に—

陽がまた昇り  
沈む間もなく  
また昇り・・・

心のなかにも  
陽があたり・・・  
僕の時計が動き出して  
一日が始まるのだ

そして  
僕の大切な時間が  
過ぎてしまう

新しい日に  
悩み苦しむって  
避けたいのだけれど

あえて心のなかを  
リセットするのに  
とても良いことなんだ

新しい日に  
何故だかそんなことを  
考えている僕がいる

## 君と歩いた道

---

－君と歩いた道－

晩秋の頃に

君と歩いた堂島付近

少し寒くって

僕のコートを君の背に

ありがとうって

とっておきの笑顔で

君は頷いた

何故か・・・

手をつないだ力が

強くなった

気をつけてねって

段差に反応して

しっかりと握ったのです

じっと見つめると

はにかんだように

君の笑顔が返ってくる

君のおる道・・・

いつも一緒に歩いて

みたいと思っている

## 僕のファンタジア

---

ー僕のファンタジアー

人が思いつかない空想  
人とは同じ夢を見るはずがない  
人と同じ事をするって  
何故か恥ずかしい

でも行動を共にしないと  
ひとりだけ浮いてしまう

一人ぼっちは慣れてるんだ  
生まれてくるのひとりだろう  
だから苦にもしない

自分の好きなことをするって  
最高のぜいたくなんだ  
だから詩を作る

僕のファンタジア・・・  
自由な poem  
僕だけの世界がある

過ぎし今日はあっても  
明日はまだまだ過ぎていない  
そしてそして・・・  
自分だけの時間が待っている

## 今日から

---

特定健診での肺がん検査で異常あり・・・肺がん検査で異常って肺がんの疑いあり？  
再検査が終えて結果を聞くまでは・・・これでこの世も終わりかって思ってしまった。  
さすがに消沈の日々が続きました。  
これを機に、一日一日を大切に過ごさなきゃって思うのです・・・(笑)

ー今日からー

生まれ変わって  
新しい命ができたって  
そう思って・・・  
その日を大切にしなきゃ

あきらめた命・・・  
助かったって思ったら  
これからは  
良い一日にしよう

そう思って  
どこまで生き長らえるか  
残り少ない日々を  
貴重に思うのである

命って何だろう  
命があるから  
楽しいことがあり  
未来がある



## 忘れ物

---

－忘れ物－

好きだと言って  
愛する人の心の中に  
忘れ物をしてしまった

気付くのが遅いんだけど  
だから・・・大切な  
忘れ物をとりに行くまで

いくら悲しくて  
辛いことがあっても  
泣かないでおこうと  
思うのです

涙は愛する人との  
最後の別れに  
残しておきたい

涙は忘れ物と一緒に  
僕のところに戻ってくる  
心の道なんだからね  
最後のな・み・だ  
大切にしなきゃ

何故か・・・  
昔のことを思い出して  
そう思うのです

## 思い出さなくても

---

— 思い出さなくても —

えっそんなこと  
昔のことじゃない  
いまさら恥ずかしい

あの頃は  
若かったからいいけど  
いま思い出すとね  
好きだと言って  
抱きついたりして

良いんじゃない  
好き同士なんだから

うーん  
思い出したら  
恥ずかしいけど  
抱き合ってみようか

あの頃って  
思い出すのかなあ  
どうやってたかなあ

首に手をまわして  
こうだった？

いやいや違うよ  
こうだよって？  
もうもう  
思い出さなくてもいいのに

## 最悪なこと

---

かれこれ3年前の事？

実は家庭内でのアクシデント・・・軽くストレッチしていて・・・ピクンって感じで、これってなあーに、カチキチなんか塗っておけば治るって思っていたら、日増しに痛くなって足首やつま先部分がすごく腫れてきて・・・これは大変ってことで、webから探して整形外科じゃなく、接骨院へ・・・院長先生から左足関節捻挫と診断されました。

安静が一番とのことで安静中・・・これがかなりきついことなのです。

独居老人のkさんだから、食事も入浴も介護者なしでは・・・最高の苦難の道です。松葉杖を操っての自炊も大変だし、負担の少ない弁当等をスーパーに買いに行ったり左足だから運転には支障がないのですが・・・。

そんなこんなで・・・皆さんも普段の普通にやってることでご用心下さい。

ー最悪なことー

長く・・・？

人間というやつをやってると

最悪な出来事が

ひとつや二つはあるものだ

最悪を経験と言うか

体験してることって

少しは人間として

強くなれるんじゃないかって

最悪・・・？

基準ってなあーに

人それぞれなのだが

試練を与え給われし事？

不幸だけはいらないんだけどね

でも何かの時に

話のネタの一つぐらいには

なるんじゃないか

実は最悪なこと？

僕には必要ないのですが

むかし、昔

---

—むかし、昔—

遥かむかし？

そうでもない昔

ついこの間のことも

いずれにせよ

良い思い出をたどって

心踊るのです

今なお元気ですか

病気してないですか

幸せですか

いろいろと？

訊ねてみたいのです

むかし、昔

ついこの間のことも

思い出して

懐かしんでいる

僕がいる・・・

## 好きな人

---

愛に続きはありますか

愛はそのまま止まっていますか？

愛に続きがあるのです・・・私だけって・・・いやいや皆に平等にあるんです！

僕のような中途半端な愛は完結・・・させて下さい。

そうそう別れ方が中途半端だったから、今からでもご機嫌直しして、やり直してもいいし、ごめんなさいって言われちゃうかも知れないけど頑張ってみようかと！

愛に続きはありますか？って・・・ダメかな・・・。

でもそれは良いことだから・・・僕も今のうちに愛の続きを始めてみます。

補給水の作り方？水500mlに砂糖20gと塩1.5gを使用済みペットボトルに入れ

よく降って・・・冷蔵庫で冷やしています。・・・水分補給・・・熱中症対策です。

皆さんも如何ですか？

—好きな人—

今も大好きなひと

いつまでも大好きな人

愛の続きを

待ってくれている人？

いつまでもいつまでも

老いてしまってもね

別れても

やっぱり大好きな人

また会っても

久しぶりね元気だった？

そうなんだ

やっぱり好きだった人は

いいなあ

## こんな日に

---

ただいま近所のbus stopまでおよそ往復120mほどなのですが散歩です。

えっ・・・たったの120mって？

でも呼吸器に疾患のある（煙草で肺の半分が肺気腫で全滅なのです）身体になっではこの距離は結構きつときがあるのです。

少しずつでもクリアして距離を少しずつ延ばしていければと思うのです。

ほんと・・・情けない身体になったものです・・・長い間喫煙してたことを後悔してもはじまりませんが・・・身体障害者（呼吸器）3級に認定されています。

そうそう歩行については先輩諸氏の皆さんから追い越されてしまいますが、自分のペースで前をしっかりと歩くこと・・・。

これでも登山やロッククライミングをやったり、サッカー選手だったり、卓球選手だったりと頑張っていたのですけどね・・・。

こんな日に？こんなpoemが出来ました(笑)

ーこんな日にー

あまりにも  
使いたくない言葉だし  
やる気も失せる

でもこんな日にを  
乗り切ったら  
なんか自信が出来たし  
明日が見えてきて  
心も晴れ晴れするんだ

こんな日に  
どうしょうって  
悩んでも仕方がないし

いつものように  
何事もなかったように  
やるだけなんだけどね

こんな日に？  
何故か無駄なような

感じがするのだが

行動には

無意味なことってないし

だまって文句も言わず

しっかりやるか



## 11月の詩

---

健康診断結果の再検査、精密検査などなど健康上のいろんな検査を受診して  
ああー僕もこの世界ともお別れなんだと・・・おセンチになったり、天国ってどんな  
ところかなあって思ったり、日常的なことから外れて・・・病的な心の中をさまよう  
様な事態があると・・・えっ・・・もう11月かいなあ・・・うーん・・・早い？

実はまだ生きています・・・このままで？いつまでも生きながらえるのか？  
そんなことを考えてみたり、やっぱり健康が一番だなあって！！

そして一日一日を大切に生きなきゃと思いつつ・・・結局はいつもの日常生活に  
なっていて、特に何ら変化もなく・・・いつも通りなのです(笑)

さてさて皆さんお元気でしたでしょうか？

朝晩はもう寒くっていつ暖房器具を使っても不思議じゃなくなってきました。  
まずは事前に健康診断を受け病魔の早期発見が大切なんだと思うこの頃です。

### ー11月の詩ー

いつものことなんだ

朝・・・目覚めると

小鳥がさえずり

・・・朝日がさして

ああーこの感じって

いつものように・・・

布団から起き上がり

さあ・・・今日も元気で行くか？

この季節・・・

風邪を引きそうで

気をつけなきゃって？

実は最近のこと

風邪から治ったばかりで

少し神経質になっている

だからじゃないけど

街々の木々の色づきが始まり

目を楽しませてくれるんだ

近くの山々も

さあさあ見てらっしゃって

日ごとに色づいて

楽しいことったらありません

うーんやっぱりね

自然って

すーっと心に溶け込んで

心穏やかにしてくれる

そうそう寒くなってきて

最近ふわーとした

セーターを着て

暖かかって感動したり

この季節いろんなことで

心動き・・・心騒ぎ

心おどり、心ときめく日々なんだ

僕はそう思うのです

## 生きる

---

こうやって詩作してるって生きている証でもあり、元気な報告でもある。  
がん検査でがんが見つかりましたよ！転移してないかいろんな検査をしま  
しょうってことで、どうにか治療方法が決まって闘病生活になるわけですが！  
ここまでに至る間・・・もうダメか？・・・もう少し生きていたかったなどなど？

そうそう・・・特に自分自身だけが悲劇の主人公になったりして眠れない日々  
が続いたこともあったのです。  
とりあえずば一応早期発見の部類になり、命を長らえることに感謝しなきゃと  
思っているのです。

－生きる－

生きていて良かった？  
いや・・・！！  
生かされてよかった

まだまだ  
やりたいことがあるんだ  
死ぬに死ねないよ

誰でも・・・。  
思い残すことがあれば  
癌って良いものじゃないし  
気にかかるし

幸せで  
もう思い残すことが  
ないってことが  
大事なんだと  
いつも思っている

だから  
一日一日を大切に  
生きていこう

そう思いながら  
結局はずさんな  
一日で終わってしまう

あと少しだから  
真面目に生活しなきゃ  
生きるってた・い・へ・ん

## 新しいこと

---

年末ジャンボ宝くじにかけていたのですが・・・かすりもせず・・・見事なハズレ？  
こればかりは当てる人もいるって思うと少し腹が立ちます(笑)  
そんなこんなで・・・今年も詩作をはじめます。

－新しいこと－

買ってきたノート  
初めてのページ  
何故か指がふるえて

最初だからって  
きれいに書かなきゃ  
失敗はだめだぞ

バイクにガソリンを入れた  
ノズルを握る手がふるえてる  
満タンにしようと思うとね  
何故だろう

そして切れの良いところで  
入れるの止めようと  
指先に力が入る・・・  
ぴったり8リッター  
よし幸先が良いぞ

いつもの日常のことなのに  
元旦にやる事ったら  
全てに初・・・が付く

新しい事じゃないのに  
新しい年が始まるって  
嬉しくなってくる

まだまだ新しいことが  
いっぱい残っている

新しいこと・・・？

ほんとうの新しいこと

始めてみませんか

## 初めての

---

天地真理さん・・・往年のアイドルいやすごい歌手！！  
古希になってファンクラブの会員になっちゃいました。  
これで肩身がせまくなかったと安心して居るのですが・・・いけませんか？  
でも昔の女性歌手が歌う曲に不思議な事ですが魅了されています。

－初めての－

女性歌手のファンクラブって  
うむ・・・何々？  
性別年齢制限ってないの  
ほんとに老若男女OKなのかな

初めての・・・  
はじめてのファンクラブ  
なんか気恥ずかしいのだけれど  
まあいいか？

単純な人間と言うか  
単純な考えって  
何故か便利が良いよね  
決めるのも早いし・・・

これって前後の見境もなく  
調べもせずに  
心のまま動くって  
馬鹿じゃないのって  
言われそうなのに  
まあいいか？

初めての・・・？  
初めてのファンクラブ  
この先何が起こるのか  
ワクワク・・・  
ドキドキ感が明るい明日を  
約束してるような

そんな気がする



## 愛について

---

真理（天地真理）さんと共に歩いています。

皆さんは如何でしょうか？

・ ・ セピア色の世界へどうぞいらして下さい。

毎日毎日 ・ ・ 真理さんの曲を聴き入ってるってKさんだけじゃないの？

女性目線で思いたったのですが ・ ・ こんなpoemになりました。

これはとても拙いのとちゃう？

— 愛について —

心に描いてるあなた

このままずーと私のそばにいて

温かく見守ってほしい

そう願ってるのに

もう一つの心がいて

まだ決心してないの

ごめんなさい本当に

でもいいの ・ ・

あなたがハッキリと

好きと言ってくれたら

私もきっと決心するわ

だからお願い

夢の中でも良いから

一番大好きと言って欲しいの

今日は愛について

もっとたくさん

夢を見ることにします

あなたも同じでしょうか

教えて下さい

## いつも考えている

---

ある日曜礼拝のことなのです。

- ①人間は栄華のうちにとどまることができない、屠られる獣に等しい。
- ②死ぬときは、何ひとつ携えて行くことができず、名誉が彼の後を追って墓に下るわけでもない。
- ③人が見ることは知恵ある者も死に、無知な者愚かな者と共に滅び財宝を他人に遺さねばならないことを。
- ④命ある間に、その魂が祝福され幸福を人がたたえても彼は父祖の列に帰り永遠に光を見ることはない。

今・・・こうして日常の何気ない中に生きていて、その積み重ねが人生なのか？  
出世も著名になっても行き着く先は皆同じ・・・。

ああーそんなこと分かってはいてもいろんな欲望におぼれ・・・些細な日常を忘れてしまっているのじゃないか？

まあ哲学的な難しいことは置いといて・・・今のささやかな日常を大切にしていこうと思っているのですが・・・皆さんは如何でしょうか？

ーいつも考えてるー

ああーこうしたい

・・・ああしたい

こんなことやってみたい

あんなことやってみたい

身の丈にあった

些細な日常の生活

少しのしあわせ

少しの贅沢・・・

今のこの日常が大切って

いつも考えてる

なのに

いろんな欲望が誘ってくる

今のありのままの現実を

じっと見つめて  
なるほどねって  
思っているのに・・・

いつも考えてる  
なのに・・・  
未だに些細な生活が  
一番幸せなことを  
なかなか分かっていない

いつも考えてる僕がいる  
いつも考えてる私がいる  
そして・・・  
何故かいつも考えてる

明日へ

---

ー明日へー

ふり返っても・・・  
しかたがないよね  
いつもそう思っている  
進むって・・・  
前しかないのだから

明日へ・・・  
誰もが進むところ  
希望と夢の道  
そして  
幸せを運ぶ未来への扉

明日へ・・・  
みんなが進んでいる  
太陽が沈みまた昇る  
些細な単純な・・・  
繰り返しのうちに  
夢があり栄光がある

明日へむかって  
悩むことなく・・・  
元気で進んでいこう

## バイクに乗って

---

ところで1ヶ月って早いですね・・・こうしてまた1年の命を頂いたのだから  
無駄にしないで心静かな日々を過ごそうと思っているのです！！  
実家にて大型バイクに乗ってきました・・・そして poem 完成！

ーバイクに乗ってー

少しずつ汗ばむ季節になった  
こんな時こそバイクに乗って  
風を切って前に進もう

自動車と違って  
ぜんぜん景色が違うんだ  
空気が肌にふれるって  
ほんとうに心地良い

過ぎゆく景色も  
何故だか香りをのせて  
体中に纏わりついてくる

具合が悪いのは雨の日なんだ  
でも少しの雨なら  
体にしっかり受けとめて  
雨との会話も良いんじゃないか

バイクは僕の友達  
そして何処へでも  
連れて行ってくれるんだ

そうそう  
今日も実家に帰ってきて  
バイクと一緒になんだよ

## 眠れないとき

---

昔に作った詩なのですが・・・今になって思うと・・・何故か稚拙で  
恥ずかしいです！！  
詩集「憧れと愛を求めて」第2章：憧れとともにから抜粋です。

－眠れないとき－

あなたは今・・・  
何を考えているのでしょうか  
あなたは今・・・  
何をしているのでしょうか

いろんなところを歩いたので  
ぐっすり眠っているのでしょうか

楽しい夢を  
見ているのでしょうかね  
今日はありがとう  
眠ってしまうと楽しい思い出が  
なくなるのではと 考えて  
なかなか眠れません

この気持ちが  
あなたの元へ・・・  
届いてほしい

## 感謝すること

---

－感謝すること－

先ずは自分自身に  
感謝をしなきゃ  
独りで・・・  
生きてきた訳じゃないけど

周りの人たちに  
いつも支えられて  
生きてきた

しかし何時までたっても  
そうは思えないのだ  
陰で支えられてる  
そのことが分かっていない

でも、でも・・・  
こうして歳を重ねてくると  
多くの人が支えてくれている  
このことが自然に分かってくる

ほんとうに  
感謝、感謝なのだ  
何処かに掲げられていた掲示物  
喜びと  
感謝と  
希望

喜びに心躍り  
感謝にうれし涙を流し  
希望に明日への夢を求め  
私たちは生きている

感謝すること・・・  
この言葉を大切にしたい

これから必要な言葉なのだ



## 愛と慈しみと

---

— 愛と慈しみ —

この愛をそして慈しみを  
生まれてきたあなたへ  
注いできたのだけれど  
これで良かったのでしょうか

いつも見る夢の中にも  
あなたの笑顔がいてるから  
私を楽しくしてくれるのよ  
これからもよろしくね

あなたが大きな瞳を  
あけて笑っている  
だから今日まで  
元気で生きてこれたの

この愛をいつまでも  
この慈しみをいつまでも  
あなたの心へ届くように  
いつもそう思ってる

## 旅立ち

---

－旅立ち－

明日への旅立ち  
誰も現れない  
寂しいことったら

でも・・・  
大好きな君だけは  
来てくれた

僕はそれだけで充分  
一人の旅立ちって  
僕には良く似合う

成長した姿で  
元気に帰ってきたら・・・  
次の旅立ちは  
必ず・・・  
君と一緒にだよ

## 遠い国へ

---

— 遠い国へ —

遠い国 . . .

遥か彼方の国

風よ教えてください

私が昔に住んでいた国

今はどうなってるのでしょうか

私が恋したあの人を探して下さい

お元気だったのでしょうか？

もしも？

もしもあの人がお元気なら

お願いだから伝えて欲しい

それとも . . .

私を連れて行ってくれますか？

あの人に会えるなら

とても嬉しいのです

でも？

私のことを . . .

想っているのでしょうか？

風の便りでは

会いたって聞きました

それともあの方は

もういないのでしょうか？

どうか教えてください

遠い国へ

今度はずーっと帰ってみたい

心かよう生まれたところ

あの人への想いと同じで

いつまでも愛おしく

大好きなのです

## 輝く故郷

---

－輝く故郷－

かがやく故郷・・・  
山があり川があり  
海があり空があり  
果てしなく続く遥か彼方  
透き通った景色の中に  
心優しき故郷が見える

今は春・・・  
待ち焦がれた言葉  
桜の花が競い咲くなかで  
虹色の風がそよぐ故郷  
美しき緑があり  
雨音もやさしい音色を奏でてる

今も未来も・・・  
とこしえに輝く僕の故郷  
明日への道しるべを照らし  
後姿を暖かく見守ってくれる  
私たちの故郷

この幸せを・・・  
いつまでもいつまでも  
ずーと続きますよう  
豊かな今を心に秘めて  
故郷の思い出を  
天国へ運べるようにと思ってる

## ちょっとしたこと

---

—ちょっとしたこと—

ちょっとした勇気と

ちょっとした心遣い

ちょっとした愛情

少し足らなかったかな

少しの些細なこと

何故か大袈裟に

考えてしまって

深く考えないでおこう

そう思っていたのに

明日からは

些細な日常でも

些細なことにも気をかけて

小さい愛を

大きく育てなきゃ

そう思っているのです

## 皆踊れ

---

ー皆踊れー

踊れる人って  
うらやましい

踊れるような身体じゃないから  
でも気持ちでは踊ってるよ

皆で踊ろう  
昔はずかしくて  
踊れなかった  
うーん・・・今は？  
年の功と共に

苦手な女性とも  
ちょっとは話せるように  
時代とともに  
少しは進化してる

そんな自分に  
今頃になって何故って  
問いかけても  
答えは返ってこない

そんなことより  
みんな出てこーい  
今日も元気だ  
皆でて踊れえ

## 希望の光

---

－希望の光－

みんなが持っているのは  
小さな光だけど  
ひとつひとつ持ちよって  
大きな光にしてゆこう

そしたらね  
あちらこちらから  
光が集まってきて  
さらに大きな光になって

希望の道を明るく照らし  
前に進んでゆこうよ

わたしたちは  
前に進むしかないのだから  
輝く光がとっても大切で  
もっともっと明るくしなきゃ

未来の希望にむかって  
心弾ませしっかり進んでゆこう  
そしたらね・・・  
きつときつと夢が叶うんだ



# 爛爛ラン

---

— 爛爛ラン —

楽しいことや  
嬉しいことや  
これってね？  
良いことには  
違いはないけれど

でも心に届いていますか？  
何の邪魔にもならず自然に  
心に届く歌声って  
素敵なことなんだ

毎日聴いても飽きない  
これってって何なんだ

僕はまた・・・いやいや  
何度もなんども・・・  
不思議なことに  
いつも同じ歌ばかり  
聴いているのだ

過ぎし日々へ

---

1年が終わろうとすると何故か寂しいですね？

poemも寂しくなっちゃいました・・・ごめんなさい・・・まあいいか(-\_^) ☆

ー過ぎし日々へー

些細な日常のシ・ア・ワ・セ

日々の食事って楽しいもの

質素ななかにも喜びがあり

贅沢三昧よりは

不思議に心が満足している

嬉しいこと

楽しいこと

愉快的なこと

何故悲しい辛いことがないのだ？

いやいや悲しいことがあるから

楽しいことがある

辛いことがあるから

愉快的ことがある

だから悲しいことや

辛いことがない

これって当たり前なんだよと

誰かが言っていた

過ぎし日々へ

思い出をありがとう

過ぎし日々へさようなら

未来の明日への道を

亡くなられた方々の命が

光り輝く明日へと導いてくれる

皆の命を・・・僕の命を・・・

幸せにと紡いでくれてありがとう

過ぎし日々へありがとう

・ ・ ここに感謝します

## 新たな未来へ

---

新年からは笑顔の素敵な人でありたいと願っているのですが(笑)  
だって笑顔は心の扉なのに怒った顔や素知らぬ顔や不満顔をしないようにと  
思っはいるもののなかなか感情が先走ってなかなか難しいものなのです。  
だから先ずは一番に笑顔が自然に出るよう気をつけなきゃと思うのです。  
笑顔・・初めまして、ようこそいらっしゃい、お元気ですか、ありがとう、ほんと  
笑顔って幸せを運んできますよね？今年こそ・・そうでありたいと！！

—新たな未来へ—

新年・・新たな年  
真っ白な未来への道  
いついつまでも  
光に満ちて輝く明日

どんな足跡を残そうか  
弾むような気持ちを  
はやる気持ちを抑えて  
夢と希望をしっかりと  
刻んで行こう

何処へ進んで行こうか？  
いくらでも迷って  
ゆっくり決めればいい

私たちの・・  
新たな未来へ  
足下を踏みしめて  
歩いて行こう

## 夢の花

---

－夢の花－

懐かしい夢の花が咲いている  
あちらこちらと見渡せば  
こちらから・・・  
いらっしゃーい  
いやいや・・・  
こちらからだよ

どちらから花を摘もうかと  
こんなにたくさんあると  
迷ってしまうよ  
それだけ楽しい夢があったんだね

じゃあ右回りに摘んでゆくね  
ちゃんと綺麗な花瓶を用意してるから  
此処だけの話し？  
花瓶の底に番号を付けてるんだよ

毎日ひとつずつ  
夢の花を訪ねて行くからね  
そしてね  
懐かしいことを満喫したら  
また野原に戻すから  
これからもよろしくね

## 大好きだった

---

—大好きだった—

ラブレターを書いた  
会うことはもう無いだろうと  
ふられてしまったと思い込んで  
だから好き勝手に書いた手紙

それが偶然に再会した  
ごめんね返事しなくて  
いいよ勝手に出した手紙だから  
お茶でもご一緒しましょう

そうかそうか兄妹って感じなんだ  
何かと話しやすくて  
いやいや同い年じゃない  
気兼ねなく話せて不思議に愉しいって

いつぞやはガールフレンド連れてると  
初めてだよね私が見たのは・・・

次に会ったときに  
ガールフレンドじゃないよ  
何故か長々と言い訳をしていた

## 別れと出会い

---

－別れと出会い－

別れって悲しくて淋しい  
でもほんとうは会おうと思えば  
何時だって会えるのだから

死別じゃないのだぞと  
そう思うことで・・・  
前向きになれませんか

別れたはずなのに  
不思議にまた一緒になっている  
こんなこともあるのかと  
少し嬉しいこともある

勝手に別れたと思ってるだけで  
気持ちまで勘違いしてしまってる

でも考えてみると  
心かよう日々だったから  
ずーと一緒にだよと言ってしまった  
これでいいのかなあ

新年度っていつも春だから  
新しい友達が出来たり  
恋人が出来たり

だから・・・だから  
良い出会いを大切にしたいよね  
別れって言葉だけで  
仮の別れだからね

## 子どもたち

---

—子どもたち—

まっすぐ何を見てるの  
その先には何があるの

二人で歩いた道を  
ふりかえりもせず  
前を見てる

前には良いことばかり  
あるんだね

明日も前を見て  
歩いていくんだ

そうなんだ  
大好きなことばかり  
あるんだよ



## 風と花たち

---

今は・・・花の季節だからこんなpoemに！

ー風と花たちー

花びらが・・・  
風に揺れて  
コンニチワって  
おじきをしてる

開いた花びらは  
そよ風と遊び  
陽光に輝き  
とても可愛い・・・  
少女の瞳のよう

じっと見ていると  
こちらまでが何故だか  
恥ずかしくって  
下をむいてしまった

そんな初恋に似た  
想いがして・・・  
僕は不思議に照れている  
今日の僕は風といっしょに  
花たちを見に来たのです

## いつの日も

---

—いつの日も—

いつの日もいつの日も  
前を見ていよう

ほらほら・・・  
前を見てると  
明日までも何故だか  
楽しくなってくる

そして漢字が違う  
こちらの「愉しい」も  
いい感じで  
愉しくなってくる

青い空を・・・  
いつも見てるんだ  
そしたらね  
透き通った空へ  
飛んでゆきたくなる

いつの日も  
いつの日も  
先にある未来って  
やっぱり良いなあって

## 叱られて

---

－叱られて－

叱られるって・・・

好きな人は

いないんだけど

叱られるって

その数だけ

利口になれる？

叱られるうちが

花って言うけど

ほんとうはイヤなんだ

叱るほうもイヤだしね

叱ってくれて

ありがとうって

アドバイスを・・・

ありがとうって

素直な気持ちで聞くと

自分のためなんだって

前向きになれるんだ

叱られて

叱られて・・・

僕は進歩し成長した

## 丘にある家

---

—丘にある家—

そよ風が吹き  
緑の木々が  
そよぐのです

ここに君がいて  
僕がいます  
でも・・・  
今は時も過ぎて  
それも昔のこと

そうなのです  
君のいない  
丘にある家

僕は君の名を  
呼ぶことで  
あの青い空と  
美しい朝を迎え  
君を抱きしめた  
あの日を想うのです

## 終わりの日に

---

明日は十五夜、月の光りが全てを照らして！  
幸せと希望が満ち溢れますように（祈り）

— 終りの日に —

さよなら・・・と  
言った・・・  
君の唇が  
何故か潤んで

僕をじっと  
見つめている

思わず駆け寄って  
互いに・・・  
K i s sをした

さよなら・・・  
したのに  
また・・・  
こうして  
抱合っている

十五夜に逢うと  
いつもこうなんだ  
離れるのが  
淋しいって・・・

けれど  
新しい明日が  
待ってるのです

## 秋風とともに

---

昨晩は満月で・・・月明かりが思ったより明るくって感激  
ひとしおでした。

みなさん・・・今夜の中秋の名月を堪能なさって下さい。  
詩作も・・・少しテンションをあげています。

ー秋風とともにー

夏が終わり  
秋の気配が  
濃くなった

耳を澄ませば  
風の音が  
聞こえてくる

様々な今までの  
懐かしい想いが  
秋風とともに  
やってくるのです

人恋しくなる  
秋の今・・・

私は過去の  
この季節に  
タイムスリップ<sup>°</sup>をして  
昔の恋を  
探してるのです

## 違った靴

---

—ちがった靴—

履き違えた  
黒の革靴に  
左はスニーカー  
消灯・・・  
E C Oの弊害？

まあ・・・夜だし  
近くだから  
このままで・・・

変な組み合わせ！  
人も気付かない  
でも・・・  
明るいショップへは

みんな・・・上を向いてる  
物が落ちてる  
訳じゃなし

上を向いて  
歩いてるって  
皆・・・  
幸せなんだろうな

## 雨のち曇り

---

-雨のち曇り-

嫌な天気

秋は・・・

女心と秋の空って

期待はしないが

やはり青い空が

気持ちいい

こんな時は

いいことが無く

好きなバイクは

エンジンが・・・

かからず

思いっきり

風をきって

走ってみたい

夜どうし

・・・充電して

エンジンが

どうにか起動

自転車とは違って

街並みの風景が

面白く見える

少しは・・・

気分も爽快に

明日は・・・

晴れるだろうか



## 思いつき

---

ホントかいなって言うような思いつきの詩が！

ー思いつきー

秋風に  
誘われて今  
君に会う  
胸のときめき

ああ～  
我が青春よ  
何処に・・・

野に歩くと  
アゲハ蝶が  
語りかけます

やっと  
秋になったわね  
そこまで  
ご一緒しましょ

短い時間ですが  
初めて  
アゲハ蝶と  
散歩しました

## 懐かしきこと

---

ー懐かしきことー

久しく歩く・・・  
デパート大阪  
懐かしい店がある

愛しい女性に  
プレゼントを買った

何故か  
ショップの前で  
立ち止まる

センスも素敵で  
・・・愛想もよく  
お気に入りの  
レディスショップ

あの頃の  
女性のことを  
想うのも・・・

いいのではないか  
秋～なんだから

久しぶりです

---

行事に参加して・・・地元の絆を感じた一日です。  
出不精の僕（ウソです。遊んでます）でもいろんな  
ご近所の知り合いから声を掛けて下さったり・・・

年上のお姉さんからは・・・野の花なんか教えて  
いただいたりして！

ああ～しあわせ・・・（笑）

ー久しぶりですー

お元気でしたか

ご無沙汰ですっ

やっど・・・

時間がとれて

なんて言ったり

台風どうでした

出かけていたのですか

大変でしたねって

懐かしい人の

顔を見つれたり

元気ですかっ

駆け寄って

握手したり

僕には

非日常の世界

でも・・・

また参加したく

なりました

行事の当日には

確認の電話も

あったりして

・・・ホント、やはり

好きな町です

## アルバムって

---

ーアルバムってー

アルバムってやつは・・・  
長編小説か

いろいろなシーン  
僕の記憶が  
そのときに  
タイムスリップする

運動会の写真  
対抗リレー  
その中で  
走ってる

今は走れないのに  
一番で走っている  
結構速いじゃん

そうなんだ  
昔は速かった  
50m走が  
6秒台なんだよ

また・・・別の写真  
場面ごとに  
その時の  
続きが始まる

またページを  
めくっている  
アルバムって  
やつは・・・

終わりのないドラマだ

もう・・・

こんな時間に

もう一度

---

—もう一度—

もう一度って  
大事なこと

甘える時の  
いの一番の  
フレーズなのです

仕事では  
駄目押しの  
時に使う  
・・・チェック

同じ事をするって  
無駄なようで  
安心できるもの

好きなことって  
何回しても  
いいものです

僕も・・・  
君に甘えて

もう一度  
・・・抱きしめて  
いいですか

## 十三夜

---

-十三夜-

十五夜に  
会ったのに  
・ ・ 十三夜も  
満月のなかで  
二人して歩く

手をつないで  
歩くには  
気恥ずかしい  
明るさ

でも ・ ・  
手の暖かさが  
僕の胸に  
届きました

好きですって  
伝えてくれて  
いるのですね



## 君の瞳

---

—君の瞳—

秋だというのに  
君の瞳が  
まぶしくって

じっと  
見つめて  
おれない・・・

何時からなのか  
好きになって  
しまったのか

君の瞳に  
恋してしまった僕  
・・・明日も  
そうなのか

好きになって  
しまって・・・

でも・・・  
ほんとうに  
大好きなんです

## ゆっくりと

---

—ゆっくりと—

急ぐことはないよ  
僕も遅いから  
走れないんだ

昔は走っていたよ  
リレーなんか得意  
運動会って  
大好きだった

今はもう  
走れなくて  
好きなサッカーも  
卓球も  
もう出来ない

だから・・・  
ゆっくりなんだ  
景色が変わったよ  
何もかも  
ゆっくりだと  
はっきり見えるんだよ

## オレンジ色の風

---

ーオレンジ色の風ー

オレンジ色の風って・・・？

今頃の風じゃない

今頃って？

秋ですよ！

それも紅葉も終りの

晩秋じゃなく

秋の真ん中って言うか

ほんとだ・・・

オレンジ色の風が

今・・・そばで吹いてるよ

冬でない暖かい感じ

じっとしてると肌寒いかも

うわ～

気持ちいい～

やっぱり

秋って・・・いいですね

山の顔が黄色になると

オレンジ色の風になるのね

やさしく・・・

包まれてるって感じよね

オレンジ色の風って

恋人たちが

抱き合って

じゃれてるようですね

ほんと・・・

恋の風みたい

私たちも

風の中に・・・

行ってみよつと

s i n g a s o n g

---

— s i n g a s o n g —

歌うって・・・  
歌ってるときは  
考え事はしない

夢中になり  
何もかも忘れてる

大きな声で歌う  
胸につかえてる  
もやもやが  
声をだすことで  
飛んで行く

熱唱すると  
歌い終わって  
気持ちがいい

s i n g a s o n g  
早く治って  
僕も・・・  
また歌いたいな

## ひとりなら

---

詩作・・・って  
一人ならをテーマで・・・考えてみました。

ーひとりならー

一人ぼっちなら  
何処へ行く  
僕は・・・賑やかな街へ  
行きたいなあ

僕は・・・このまま家で  
音楽を聞いているよ  
好きなCDがあるんだ

賑やかな街では  
ダンスを踊って  
そして可愛い娘と  
気のきいた会話して  
K i s s なんかも・・・

好きな歌は  
瞳を閉じて・・・  
リラククッスしてから  
聞くといいよ

涙がでるほど  
感激して  
胸が一杯になるんだ

## いちにさんしい

---

ーいちにさんしいー

ごおろくしちはち・・・  
さあラジオ体操です

体操してる人に  
腰痛の人がいないって  
ほんとうかなあっ

僕も・・・  
朝の第一体操するよ

早起きさんさん  
体を動かして  
健康になろうっ

## 歳を取るって

---

—歳を取るって—

1年ごとに  
知恵と経験ができ  
物知り博士に

世の中  
全て知り尽くし

その後は  
何もかも  
忘れてしまう

記憶が曖昧に  
そして・・・  
一人では  
出掛けられない

小さい子供に  
かえってしまって  
何もできない  
大きな子供



何をしましょう

---

－何をしましょう－

今から  
何をしよっ  
暇なのです

好きな人も  
今日はダメだって

CDで  
好きな音楽でも  
いや・・・DVDの  
映画がいい

ほんとうは  
大好きな君と  
一緒にいるだけで  
いいのです

はじめての

---

—はじめての—

はじめてって

何故か

ドキドキ・・・

ワクワク

そして

期待と

不安と

少しの希望と

大好きな

女性と

初めて

k i s s するような

そんな初めての

出来事・・・

## 無駄な時間

---

— 無駄な時間 —

長い人生で  
無駄な時もあるでしょ  
反対に有意義って  
どんなこと・・・

本当に  
紙一重なのです

うまくいけば  
いい時間だったと

ダメなら  
無駄な時間を  
作ってしまう

僕なら・・・  
好きな女性と  
会う時間って  
無駄な時間って  
ないのです

## 駄目なことも

---

－駄目なことも－

駄目なことも

決して・・・

無駄じゃない

駄目と思っても

ひょっとして

良くなるかもって

いろいろと

やってみる

このプロセスが

大事なんです

失敗やら

挫折やら

駄目なことも

決して・・・

無駄なことじゃない

# 夕陽

---

—夕陽—

夕陽赤く  
地平の彼方へ  
消えてゆく

それは明日への  
続きなのだよ

明日は  
また陽が昇り  
私たちを照らし  
希望を与えます

陽光は全てを  
照らし・・・

高き人も  
低き人も  
その光を受けて

明日への希望と  
未来を夢見るのです

## 今日の空色は

---

ー今日の空色はー

今日はスカイブルー  
しかし寒い  
でも陽だまりは  
春なのです

クルマのなかは  
夢心地の暖かさ

陽光を  
いっぱい受けて  
幸せを感じる  
ときめきの時間

明日は  
どんな空色だろうか

しかし  
寒いだろうな  
こんな日に想うは  
ふるさとの家・・・

実家のリビングは  
ほんとうに暖かい

南側って  
春側と言いたいほど  
・・・もう少しで  
君が待つ春ですよ

## 雪の道

---

— 雪の道 —

誰も・・・  
歩いていない  
真っ白い雪道

雪の・・・  
バージンロード

ゆっくり  
踏みしめて  
歩く

健気で可愛く  
そして  
気高く清純な  
君のようだ

今日・・・  
会えるのですね  
会うまえから  
胸が  
ときめいている

綺麗な  
雪の道を  
歩くって  
何年ぶりだろう

胸の・・・  
高鳴りは  
君のもとへ  
届きましたか

## 待ち合わせ

---

ー待ち合わせー

待ち合わせて  
心齋橋を歩く

ネオンが  
二人を包むように  
僕たちも  
恋人のように  
手をつないで

颯爽と歩く  
夜の街並み  
ウイドウショピングも  
楽しい・・・

好きな女性となら  
何をしても  
楽しいんだ

二人だけの時間は  
時の経つのが  
早いのです

君がいいのなら  
ミッドナイトシアターも  
行こうかなんか  
言ったりして

二人しての  
夜遊びも  
好き同士  
だからなんだよ



## 行きつけの店

---

—行きつけの店—

行きつけの  
ショップ・・・

顔馴染みに  
なってくると  
安心感が倍増

労いの言葉を  
いただいたり  
何かと楽しく  
なってきます

そこまで・・・  
いかなくても  
店の雰囲気も  
楽しくって  
少し長居します

いきつけって  
いいなあ  
その店・・・  
その人・・・  
その雰囲気

店が人を育て  
人が店を良くし  
お客を  
楽しませてくれる  
大好きな  
行きつけの店

## 花咲く頃に

---

—花咲く頃に—

君と初めて会ったのは  
カンナの花咲く頃

半袖の似合う  
いい季節・・・

赤いカンナの  
花が咲き乱れる  
公園で君と手を握った

白いブラウスの  
袖の刺繍が可愛くって  
じっと見つめてた

君の笑顔が  
眩しくって  
何故か俯いたまま

そんな時が  
あったのですね  
なつかしい  
君との一日です

# はじめ

---

－はじめ－

実績の記録

去年のまとめ

申告

1年を振り返る

・ ・ 反省会

告白 ・ ・

初挑戦

心の洗濯

新年

クリスマス

結婚式

初詣

えべっさん

占い

海外旅行

入学

卒業

入社

朝礼

初出場

手術

仇討ち

国家試験

散髪

定年退職

給料日

祭り

何故だか禁酒 ・ ・ ・

登山  
入門

## 春の雪景色

---

—春の雪景色—

春だと言うのに  
これが最後だと  
言いたげな  
雪景色・・・

昨日から  
降り続けて  
いたのだろうか

それとも  
早朝から  
降ったのか

何れにしろ  
雪景色は  
きれいな心に  
してくれる

この雪の上に  
何を書こうか  
足跡だけでは  
淋しい気持ちになる  
春の雪

## 春風にふかれて

---

ー春風にふかれてー

暖かくなった  
バイクに乗って  
街を駆ける

春の香りを  
胸いっぱい  
吸って走る

今度は田舎道  
春の息吹と  
梅の香り

嗚呼・・・素敵  
春風の心地よさ

春風にふかれて  
今度は  
何処へ行くの

## 赤い色は

---

過去におかまされた事がありました！

赤色に興奮したかどうか年配のお姉さんが信号待ちで停車してる  
ところに追突してきたのです。

これも、今思えば・・・特筆すべき思い出です（笑）

そしてそして・・・好きな女性も乗っちゃいましたよ！

そして黄昏時のK i s s 事件も・・・！！

それでは・・・本題に！

今日はなんか出来映えが悪そうな感じですが、せっかく詩作したので掲載しますね！

— 赤い色は —

赤い色は

恋の色

そして大好きな

燃える色

萌えるの色

赤い車に

乗って

窓を開けて

手をふれば

可愛い女性が

微笑みを

返してくれました

## 朝もやの日

---

ところでところで？

アイドルMaxのAKB48・・・！

ヘビロテやポニッシュがモーニング時間のミュージックに  
朝食をつくるにリズム感が良いんです。

朝食をいただく時はクラシック音楽ですけどね！

「エリザベス朝のセレナード」って曲知っています？

なかなかいい感じで・・・食も進みます・・・。

・・・さてさてチャレンジした今日の詩作は！

ー朝もやの日ー

朝もや・・・

町並みが

白く霞んで

霧の上に

浮かんでるよう

雲海模様の中を

車で運転するのも

何故かうキウキ

するので

霧のごとくに

我・・・ひとり

朝もやの上に

立っている

こんな日は

良いことが

ありそうな

朝もやの日なのです



## 別れの日

---

－別れの日－

別れは悲しい  
でも明日への  
スタートなんだ

別れの数  
多いほど  
大人になって  
いくんだ

そうは言っても  
やはり・・・  
悲しいし、淋しい

今日までの  
思い出は  
いつまでもいつまでも  
私の・・・心の中に

別れの日を  
希望の日にして  
前を向いて  
歩いていきます

# 想い

---

— 想い —

いつか二人で歩いた  
あの頃を想い・・・  
辛いときには  
互いに励ましあって  
生きてきた

あの頃は  
何故だか・・・  
思いやるばかりで  
怒ることがなかった

楽しかったことより  
悲しかったことの  
記憶が大きい

でもたくさんの  
思い出がありました

そっと秘めた  
胸の想いを  
少しずつ思い出し  
楽しみたいと  
考えています

# 経験

---

## — 経験 —

いろんなことに  
興味を持ち  
体験し  
経験してみる

今までとは違った  
新しい発見  
ホントに・・・  
眼が輝きます

経験すると・・・  
好きなことは  
一度やってみると  
ますますハマって  
しまうのです

体験するって  
いくつになっても  
ドキドキ  
わくわく

だから  
体験って  
ちょっとした  
冒険なんだ

いろんなことを  
体験し・・・  
経験してみよっ

## 春を待つ花

---

ー春を待つ花ー

春を待つ  
花や草木

早く・・・  
早く咲きたい  
そんな気持ちは  
人だって同じ

春を・・・  
待つもの同志

咲いた花の前に  
集って  
歌えや踊れや

梅や  
桜や  
菜の花や  
そして桃の花

ポツチャリした  
花びらは  
ふくよかで  
何故か温かい  
気がします

月曜日？

嫌な曜日であり、何故だか忙しい曜日・・・。

週の始まりなのですが、嫌は嫌でも日曜日の夕方に思うのです。

会社勤めの時は・・・必ず朝礼があったりして、司会の当番に当たることもあり、このような時は月曜日ではないのにドキドキわくわくと何故だか興奮したりして・・・。

ドキドキわくわくって・・・好きな女性に会うときだけだと思っていたりしたのですが（笑）

当番日が分かってからというもの、1週間が憂鬱になったりしたことも・・・。

話のネタ探しなんかしないといけないし、この際ぶっつけ本番ってことも経験しましたし・・・。

上手に話そうと思えば思うほど空回りして、何を話してるんだってことに・・・。

皆さんはどうでしたか？

さてさて・・・詩作をしますね・・・。

－花とk i s s－

花とk i s s

するとしたら

何色がいい

僕はピンクがいい

あなたは・・・

私もピンクがいい

そうだよね

人と同じ

感じがいいよね

赤色もいいよ

情熱的で

きっと熱いよ  
火傷するかも

あはは  
ホントだね  
燃えるk i s sって  
言うものね

さあさあ  
花とk i s sして  
そして  
大好きな人と  
k i s sしましょ

## はるか昔の

---

—はるか昔の—

今を想い

昔を想い

君を想う気持ち

懐かしく

昔のあの頃の

写真を見つめてる

今日の姿を

昔の写真に重ねて

はるか昔の

あの頃がよみがえる

少年、少女が

今の私たち達と

夢のなかで

手をつないで

歩いているのです

## 楽しいことって

---

ー楽しいことってー

楽しいことって

何があるかな

何が好きかな

食べることって

いいなあ

甘いものを

食べてる時って

みんなニコニコ

してるよね

そう言えば

ケンカしてる人って

いてないものね



## 空にむかって

---

—空にむかって—

花びらになって  
空を舞う・・・

夢のなかでは  
何でもあり  
なのです

風に乗って  
何処までも  
飛んで行きます

愛しい君は  
元気かなあ・・・  
僕が来たって  
ビックリするぞ

春ならではの  
楽しい  
ひとときなのです

僕は今日も  
空にむかって  
春を満喫  
しているのです

今日から

---

ー今日からー

楽しいこと  
ワクワクする  
興味のあること

健康が  
一番ですが  
それにもまして  
明日への  
期待と喜びが  
なければ・・・

今日からは  
楽しいこと  
嬉しいことを  
求めて行こうって  
思うのです

健康でなくっても  
楽しいことが  
あればいい  
そんな今日が  
必要なのです

## 雨の日

---

歳を重ねてくると・・・何故だか昔の出来事が不思議に思い出されるのです。  
これって・・・あと少しでこの世とも終わりという天国からのメッセージかと考えてしまいます。

呼吸器疾患があると、いつ何時発作でさよならになるかも知れないからですが・・・。

そんな訳で自身の意志に反して訪れようとしてる現実めいたことが頭から離れません・・・。  
喘息の人が痰が出ずに呼吸不全で亡くなったってことを聞いたりすると・・・そうなんだ呼吸器ってそうなるんだって・・・ある種の恐怖に似た感覚に襲われてしまいます。

死よりも怖い病気・・・閉塞性慢性肺疾患（COPD）  
またまた暗い話に・・・ああ一煙草が原因かあ！

ネガティブになったらダメだよ！  
ポジティブ、ポジティブって誰かが叫んでる・・・。  
しかしポエムはネガティブになっちゃいました。  
心は正直と言うか・・・。

ー雨の日ー

雨の日に  
君は・・・  
薄暗い部屋の中で  
電気も点けずにいる

パパもついに  
アラフォーの大台に  
なったわね

ふっと  
つぶやくように  
僕に・・・  
語りかけるのです

君も  
あとに続いでるよ

二つ違いの  
小柄な君は  
ふっと立ち上がって

抱いて・・・  
優しく抱きしめると  
もっと強くね・・・と  
言ったのです

ある出来事が  
昨日のように  
思い出す  
雨の日なのです

## 5月に想う

---

木々の青、空の青・・・。

狭い庭ですが・・・散歩しているとカタツムリを発見！

よく見ると家の壁にもカタツムリが・・・。

さすがにやっと春が来て・・・いや地域によっては  
春を飛ばしてしまっていて、もう初夏と言うか夏日の  
気温になり、一足早く夏の状況になっているところが  
・・・あります。

緑かがやく5月！一番好きな季節になりました。

－5月に想う－

新年度も過ぎて  
明日を背負って  
頑張る決意も

最後は自分が頼り  
新たな誘惑に  
打ち勝って  
自分に指示しないと  
だめなんだ

うっかりするのも  
たまには良いけど  
基本はしっかり  
していきたい

そんな気持ちに  
させてくれる  
5月の爽やかな  
風と木々の緑

さあ  
5月の風に乗って  
明日を・・・  
羽ばたくのです



## 誘いの径

---

香川県立東山せとうち美術館に行ってきました。  
魁夷自身が「四季めぐりあい 夏」にて詩のような  
コメントを残している。

旅に出た  
緑の山々や若葉の森は  
私を迎え、  
山の呼吸と私の鼓動が  
ひとつになって  
響き合うのを感じる。

・ ・ 絵にマッチした ・ ・ なんて素敵な詩なのでしょうか！  
僕自身がこのコメントを詩とってるだけかもしれませんが！

うどん県に来た際は、うどんも良いけど訪ねてみてください。  
ホント ・ ・ 心癒される空間がここにはあります。  
そして緑のハーモニーを聞いて、観てください。

そうそう ・ ・ 僕は美術館の回し者じゃないですよ（笑）  
鑑賞後1階のラウンジでシャベットをいただきました。  
瀬戸大橋が一望できる最高の景色を見ながらの大満足  
でした。そしてこのポイント。。

— 誘いの径 —

梅雨の晴れ間の  
若葉の緑  
朝方の雨で  
瑞々しく輝いて

鶯の鳴き声と共に  
私を迎えてくれる

そして ・ ・  
私の気持ちを  
察したように  
行き先の景色たちが

楽しそうに道案内を  
してくれるのです



## 風に吹かれて

---

－風に吹かれて－

初夏の爽やかな  
風に吹かれると  
今までの疲れを消し去るように  
深い眠りに誘われる

久しぶりの休日なのに  
出掛けることもせず  
いくらでも眠っていたい

また不思議に夢をみる  
風の中を漂いながら  
誰かを探している

そして見つけると目が覚める  
見つけた女性はどんな人か……  
記憶は夢の中に消えてしまっている  
また夢の中なら会えるのかな

## 潮風のささやき

---

神戸からうどん県（香川県）へのフェリーに乗った時のこと。  
船上のテラスにあがると、そこでは潮風の囁きが聞こえて  
きます。・・・ほんとかいなって??

皆さん！！  
良くいらっしゃいました。  
ザザザーザザッ・・・波の音にかき消されそうなので耳を  
すませていないと聞き取りにくいです。

良い旅になるといいね・・・素敵な出会いがありますよ！  
まあ・・・僕が聞こえたのはこんなメッセージでしたよ。  
・・・ウソです。  
そんなことある訳がないですよ  
・・・ホント瞑想の度が過ぎますよね！

ー潮風のささやきー

波の音  
風の音  
一路・・・  
目的地へ

そして  
不思議なことに  
潮風と友達に

こうして  
何度も利用してると  
潮風が  
ささやいてきます

今日は素敵な  
女性が  
乗ってますよ

ほんとだ・・・

ありがとう  
良い旅に  
なるといいね

# 挑戦

---

－挑戦－

やってみないと  
分からないのに  
何故だか  
しりごみしてる

言葉に  
プレッシャーを感じて  
挑戦と言うことから  
躊躇している

失敗するのが  
ほとんどと思って  
始める勇気が  
必要なんです

冒険も  
恋も  
仕事も  
学ぶことも  
何事も挑戦なんだ

でも失敗しても  
失敗が糧となって  
明日は必ず  
成功するよ

はじめなければ  
成功もしないし  
何の進歩もないんだ

## 学ぶこと

---

ワタシですか？これでも電気屋なんです・・・。  
電気工学の学科を無事修めました。今は離職しています。  
電気技術者・・・好きな名称だし誇りを持っていました。  
電気主任技術者をしていましたあ！

まだまだ上級の資格があるのでほんとに死ぬまで勉強って  
諸先輩から良く言われていました。

と言うことは、今は挫折してるってことですけど・・・いや定年  
退職だから・・・the end？  
若い方々には頑張っただけです。

### －学ぶこと－

好きで学ぶことが  
一番なのに  
そうもいかない  
苦手な部分もある

でも何度も  
繰り返してると  
何故だか分かってくる

学んで  
誰でも差別なく  
学べるもの

資格も誰でも  
受験できる  
頑張っただけ  
合格も出来るんだ

この作品は2012年9月の作品です。

季節の変わり目・・・8月、9月は、喘息等呼吸器に疾患のある方はご用心くださいって、Drが声をかけて下さったのですが・・・ここ数日、なんと酸素濃度Max98%に近いいい状態が続いていて、これなら走ることが出来るのじゃないかと思ってしまう。

体内酸素飽和度% S P O<sub>2</sub> = 98%以上は正常値、94%  
= 要注意としているんです。

他人事じゃない・・・何か近い将来・・・！？携行酸素ボンベに経鼻カニューレを付けて歩行するって大変なことになるかも・・・。

-----  
実は現在、予想通りのことになっていてHOT(酸素療法)実施中  
外出時は酸素ボンベを携行しています。  
障害を知らせるヘルプマーク・・・最近に話題になっています。

ーハンディーー

障害・・・って  
見える障害？  
見えない障害？

僕の場合は  
見えない障害だ

酸素ボンベを  
携行してると  
見えるかも知れない

でも  
今はまだ  
そこまでは  
症状が進んでいない

ハンディって言えば  
そうなんだ

ハンディなんだ

身体内部的な障害って

損なハンディだ

見えないハンディも

理解してくれないと

ペ-スメ-カ-の人も

大変な障害だ

外からは見えない

別に

知らせることもしない

バッチなんか胸に付けて

報せようよ

ハンディなんだから

ハンディについて

考えてると

何故か

悲しくなってくる

## 二十歳になった君へ

---

ほんとうに・・・ほんとうに！！

ひよんなことから知り合いになって・・・仲良くなって？

これは夢の中なのだろうか・・・。

そして・・・いつもの妄想の中であったかも知れません。

過去は・・・振り返らないのがいいとは言うものの！

明日に向かって・・・過去の懐かしき日々と手をつないで  
歩いて行くと素敵なことではないでしょうか・・・。

ー二十歳になった君へー

青春のときの

僕の想い

そのときの・・・

残してきた想いを

君はかなえてくれた

君が二十歳になった

大切なひとときを

今日はありがとう

二十歳・・・

すべての出来事に

すべての可能性に

すべての夢に

・・・乾杯します

そして

すべての

愛しき日に

そしてそして

新たなチャレンジに

新しい・・・



ページのスタートに

二十歳になった君へ

感謝とお礼を

いたします

ありがとう

そしておめでとう

詩集：わたしの青い鳥

F I N E

## エピローグ

---

### エピローグ

みなさん詩集「青い鳥たち」如何でしたでしょうか・・幸せの青い鳥は見つかりましたか？少しは気持ちも爽やかに、気分ものほほ一んとまったり、ゆったりと心も穏やかになられたならば作者として望外の喜びです。

詩作も50年近くやっているといつまでやってるんだと自分自身につっこみを入れたりして一日一日詩を作っているのです。

数打てばひとつぐらいは素敵な詩もあるんじゃないかと思っているのですが、もうひとつの理由を挙げるとしたら、詩作って老化防止と若返りの薬のようなのです。

過去の愉しかった出来事を追想したり、ちょっと照れくさい懐かしい恋物語を思い浮かべこれって詩になるよね等等、伊達に歳を食っていないよとかブツブツ独り言を言いながら音楽を聴きながら詩作してるのです。

そして作品の中から青い鳥的な共感できる詩が一つでもあることを願っています。詩集の中の詩を五つに区分してその時の気持ちを表してみたのですが何故かあっていないそんな気がしてるのですが、まあいいでしょうか！こんなものでしょ(笑)最後にいろいろと応援いただいた知人、友人そして詩作公開の場を提供下さったパブーさまに感謝を申し上げます。

伊賀忍者の里が残る町にて

2018年6月 飛鳥 圭

### (付記)

飛鳥 圭に関する詩集の出版履歴など

1991. 7 詩集：憧れと愛を求めて 発行：朝日カルチャーセンター

1994. 3 詩集：風と愛と君と 発行：日本図書刊行会

発売：近代文芸社

### 電子書籍

2018. 4 詩集：明日の夢時計 発行：パブー（第3集の執筆完成）

2018. 4 詩集：憧れと愛を求めて 発行：パブー（初版の再版、編集完成）

2018. 5 詩集：夢は遥か彼方へ 発行：パブー（第4集の執筆完成）

2018. 5 詩集：風の旅人 発行：パブー（第5集の執筆完成）

2018. 6 詩集：わたしの青い鳥 発行：パブー（第6集の執筆完成）

### 初の小説

2018. 5 追想の日々（上） 発行：パブー

2018. 5 追想の日々（下） 発行：パブー（執筆完成）



詩集 わたしの青い鳥

<http://p.booklog.jp/book/122198>

著者：飛鳥圭

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/sanbika21/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/122198>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト